【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第２区分
【発行日】令和4年6月22日(2022.6.22)

【国際公開番号】WO2020/129863
【出願番号】特願2020-561389(P2020-561389)
【国際特許分類】
Ｂ２３Ｋ 20/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２３Ｋ 20/00 ３１０Ｈ
Ｂ２３Ｋ 20/00 ３１０Ｌ

【手続補正書】
【提出日】令和4年6月14日(2022.6.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
アルミニウムまたはアルミニウム合金からなり、媒体を流通させる流路が形成される平板状の本体部と、アルミニウムまたはアルミニウム合金からなり、前記本体部の前記流路を覆う平板状のカバーとを接合する接合方法であって、
前記本体部および前記カバーは、接合面の平面度がそれぞれ０．２以下であり、
前記本体部に前記カバーを被せる被覆ステップと、
接合温度が５００℃以上６４０℃以下、接合面圧が０．７ＭＰａ以上３ＭＰａ以下の条件下で拡散接合することによって、前記本体部と前記カバーとを接合する拡散接合ステップと、
を含むことを特徴とする接合方法。
【請求項２】
前記本体部の接合面および前記カバーの接合面の面粗度が、各々０より大きくＲａ０．４以下である
ことを特徴とする請求項１に記載の接合方法。
【請求項３】
アルミニウムまたはアルミニウム合金からなり、媒体を流通させる流路が形成される平板状の本体部と、
アルミニウムまたはアルミニウム合金からなり、前記本体部の前記流路を覆う平板状のカバーと、
を備え、
前記本体部および前記カバーは、接合面の平面度がそれぞれ０．２以下であり、
前記本体部と前記カバーとが、拡散接合されてなる
ことを特徴とする接合体。
【請求項４】
前記本体部および前記カバーが、６０６１番のアルミニウム合金からなり、
引張り強さが１２５ＭＰａ以上である
ことを特徴とする請求項３に記載の接合体。